

第4回 エンブリオロジストのための「PGT」を学ぶ会

— 技術研修と講演会 —

現在、着床前診断検査（PGD/PGS）は用語が統一され PGT となっています。着床前スクリーニング（PGS: preimplantation genetic screening）は PGT-A (preimplantation genetic testing for aneuploidies)（染色体異数性の検査）へ、PGD は PGT-M (preimplantation genetic testing for monogenic/single gene defects)（遺伝子の検査）と PGT-SR (preimplantation genetic testing for chromosomal structural rearrangements)（転座による均衡/不均衡型の検査）に分けて論じられるようになりました。

わが国では未だ PGT-A の検査は一般化されていません。一方、海外に目を転じると、PGT-A は相変わらず学会のトピックとして取り上げられています。最近では NGS によって検出されるモザイクが注目されるようになっていきます。果たして PGT-A は今後、臨床にいかなるメリット、デメリットをもたらすのでしょうか？国内でこの検査が一般的でないことから、限定的な知識しか入手できない現状があります。我々は新たな流れに即した知識を導入して、臨床に生かしていかなければならないと思っています。

PGT の包括的な指導は医師が行なうとしても、細胞採取 (biopsy) はエンブリオロジストの仕事となります。安定した解析結果を得るためには、安定した biopsy が不可欠となります。将来、わが国でも検査が導入された時に備えて常にスキルを磨いておく必要があると感じています。同時に、染色体や DNA の基礎知識、NGS の原理、臨床結果の実情も把握しておく必要があります。

現在すぐに臨床に応用する段階ではないにしても、知識に裏打ちされた関連技術を習得しておくことは必要なことだと考えています。この分野に関する最新の情報を得て、意見交換ができるよい機会ですので是非ご参加ください。

これまで3回の技術研修会と講演会を開催しました。毎回、多数の施設からご参加頂き熱心に研鑽されました。今回の技術研修では biopsy の技術を、講演会では基礎知識の整理と PGT-A の抱える課題や現状について学ぶことができます。また、PGT-A ご希望で治療を受けられた患者様のカウンセラーのご経験と臨床成績などお伺いしたいと考えています。

実技研修には人数制限がございますので、定員に達し次第締め切らせて頂きますが、講演会のみでもご参加いただけます。

日本リプロジェネティクス 代表
荒木康久

🕒 1 日目 講演会・交流会プログラム 🕒

日時：2018年9月22日（土）

13:00～20:00（受付開始 12:30）

場所：[群馬パース大学 4号館 12階 KANBE Hall\(大講義室\)（昨年と建物が別です）](#)

講演会スケジュール

13:00～13:10

はじめに 荒木康久（群馬パース大学検査技術学科教授/日本リプロジェネティクス代表）

歓迎挨拶 藤田清貴（群馬パース大学保健科学部学部長/大学院保健科学研究科長/検査技術学科長
教授）

13:10～13:40 「遺伝的多様性と染色体異常」

演者 園山 政行（株式会社ビー・エム・エル 総合研究所第四検査部染色体検査課 顧問）
座長 長田 誠（群馬パース大学検査技術学科 准教授）

13:40～14:10 「NGS (next generation sequencing)の結果 (profile) の解読基礎知識」

演者 田村 結城（日本リプロジェネティクス 開発部長）
座長 亀子 光明（群馬パース大学検査技術学科 教授）

14:10～14:40 「Biopsy 技術にとって何が大切か？」

演者 水田 真平（リプロダクションクリニック大阪/リプロダクションクリニック東京
培養部 部長）
座長 八木 亜希子（神谷レディースクリニック培養室 室長）

14:40～15:15 「私のカウンセラーの経験 –流産に悩む患者様と PGT-A の関わり–」

演者 大石 祥子（大谷レディスクリニック 遺伝カウンセラー）
座長 早川 有子（群馬パース大学看護学科 教授）

休憩（15分）

15:30～15:50 「イギリスのラボにおける PGT-A の取り組み」

演者 Ms. Louise Kellam (Lab Manager CARE in U.K.)
座長 木村 鮎子（群馬パース大学検査技術学科 講師）

15:55～16:50 「アメリカでの PGT-A 臨床応用の現状」

演者 竹内 巧（リプロダクションクリニック東京 院長）
座長 荒木 康久（群馬パース大学検査技術学科教授/日本リプロジェネティクス代表）

16:55～17:50 「PGT-A の変遷：そのメリットとデメリット」

演者 荒木 重雄（国際医療技術研究所・IMT-College 理事長）
座長 横田 佳昌（横田マタニティーホスピタル 理事長）

18:00～20:00 懇親会（4号館-講演会場の1階）

2 日目 実技研修

日時：2018 年 9 月 23 日（日）

9:00～14:30（受付開始 8:30）

場所：群馬パース大学 2 号館 5 階 保健科学部・検査技術学科 形態学/微生物学実習室
(9 月 22 日の講演会とは別の建物・会場です)

内容：PGT-A のためのバイオプシーの手技（マウス胚盤胞から外胚葉細胞採取）
レーザー装置の有無によるバイオプシー手技
Biopsy 後の分離細胞処理法（実体顕微鏡下での操作）

持参品：白衣（必ずしも必要でないが、汚れ防止のため）、細胞移動に使用する使い慣れたマウスピース、テキスト、筆記類、その他(カメラ、ビデオは自由に撮影可)

内容：昼食は弁当軽食を準備します（2 館の 321 教室）

概要

参加費：

実技参加者：¥40,000（講演会・9 月 23 日の昼食代・交流会費含む）

講演会のみ参加者：¥3,000（交流会費含む）

会場：群馬パース大学 保健科学部・検査技術学科

9/22（土）：4 号館 12 階 KANBE Hall 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 3-3-4

9/23（日）：2 号館 5 階 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 1-7-1

TEL：027-365-3366（代表）

参加方法：

申し込み用紙に必要事項をご記入の上、**Fax** または **e-mail** にてお申し込みください。実技講習会は、先着順とし定員（**50 名**）になり次第締め切らせて頂きます。お申し込み後 1 週間しても受け付けのご返事が届かない場合は、恐れ入りますが事務局までご一報をお願いいたします。

お申し込み頂いた方には参加費お支払方法等に関するご案内をお送りいたします。

主催：日本リプロジェネティクス

事務局：日本リプロジェネティクス 担当：田村、三東

（ご質問は Tel：027-289-4218 Fax：027-289-4220 e-mail：mail@reprogenetics.co.jp）

後援：群馬パース大学

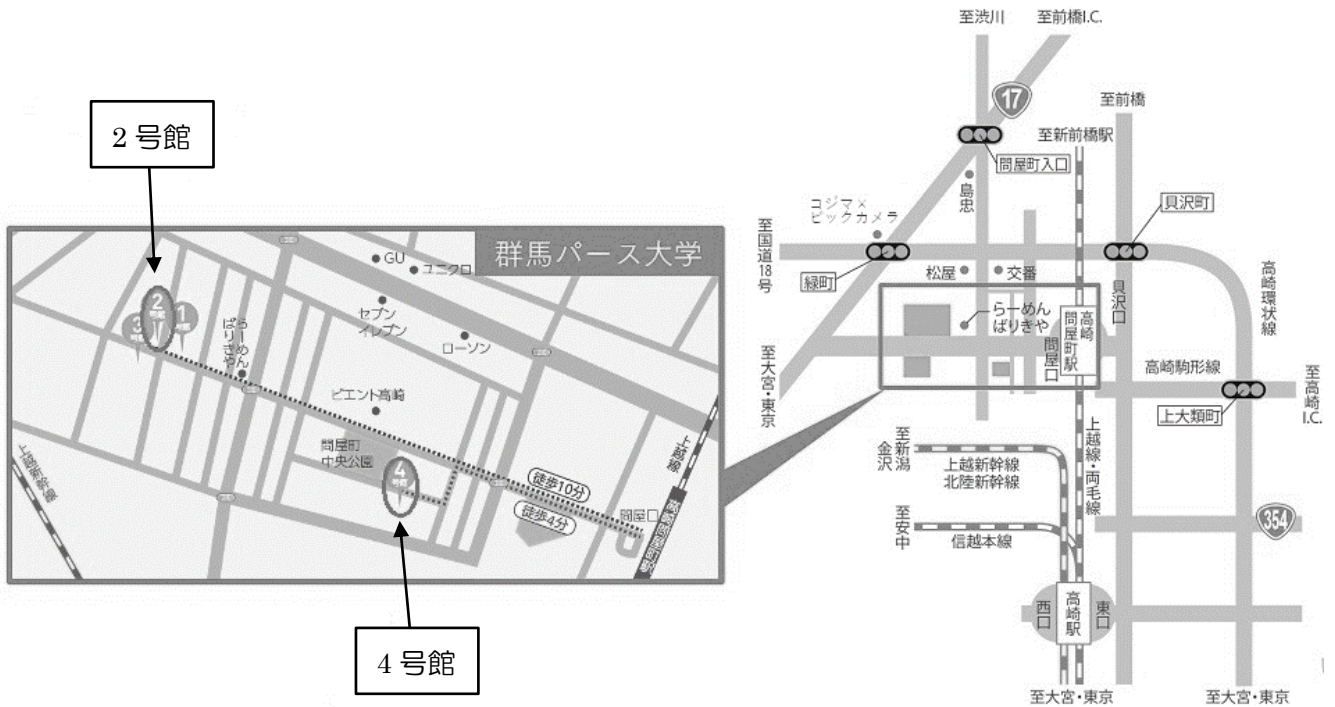
🗺️ アクセス 🗺️

群馬パース大学 保健科学部・検査技術学科

9/22 (土) : 4号館 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 3-3-4

9/23 (日) : 2号館 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 1-7-1

TEL : 027-365-3366 (代表)



東京駅から上越新幹線もしくは北陸新幹線に乗り、高崎駅で下車（約1時間）。

（高崎に停車しない列車がありますのでご注意ください。）

- JR 高崎駅からタクシーで約15分。
- JR 高崎駅から両毛線もしくは上越線（吾妻線）に乗り換えて、高崎問屋町駅で下車。駅西口から4号館（講演会場）は徒歩約3分、2号館（実技会場）までは10分。

駐車場：会場および周辺に駐車場やコインパーキングはありませんので、交通機関をご利用になりお越してください。

宿泊：会場近くにホテルはありませんので、高崎駅周辺のホテルを各自でご予約をお願い致します。

第4回 エンブリオロジストのための「PGT」を学ぶ会 申し込み用紙

日時：2018年9月22～23日

お申込先

Fax：027-230-5412 e-mail: mail@reprogenetics.co.jp

ふりがな（ローマ字）	（ ）
氏名	
所属ご施設名 （病院名）	
住所	〒
TEL	
FAX	
e-mail	

ご希望の内容にチェックをお願い致します。

実技研修のご希望	・実技研修と講演会参加（ ） ・講演会のみ参加（ ）
実技研修が満員の場合	・不参加（ ） ・講演会のみ参加（ ）
備考	

*ご参加費を頂いた皆様には、9月22日夜の懇親会（交流会）に無料でご参加頂けます。

お申込書に必要事項をご記入のうえ、Faxかe-mail添付にてお申し込みください。

お申込み用紙受領後、事務局より参加費お振込等に関するご案内をお送りいたします。

主催：日本リプロジェネティクス

事務局：日本リプロジェネティクス 担当：田村、三東

後援：群馬パース大学